

2020年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年1月14日

上場会社名 株式会社買取王国 上場取引所 東
 コード番号 3181 URL <https://www.okoku.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)長谷川 和夫
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部長 (氏名)陳 美華 (TEL)052-304-7851
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第3四半期の業績（2019年3月1日～2019年11月30日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	3,525	2.7	52	—	62	845.0	33	—
2019年2月期第3四半期	3,432	0.0	△7	—	6	△93.9	△4	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第3四半期	19.17	—
2019年2月期第3四半期	△2.78	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第3四半期	3,272	1,872	57.2	1,058.09
2019年2月期	3,140	1,838	58.5	1,038.33

(参考) 自己資本 2020年2月期第3四半期 1,872百万円 2019年2月期 1,838百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年2月期	—	0.00	—		
2020年2月期(予想)				—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の業績予想（2019年3月1日～2020年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,902	3.4	56	67.0	63	28.2	36	193.7	20.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年2月期3Q	1,771,800株	2019年2月期	1,771,800株
2020年2月期3Q	1,800株	2019年2月期	500株
2020年2月期3Q	1,770,122株	2019年2月期3Q	1,764,600株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(追加情報)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益に足踏み感はあるものの、所得環境は堅調に回復しております。一方、世界情勢が全般的に不安定のため、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、採用難・人件費の上昇が続くなか、消費税率の引き上げ等による影響を受け、消費者の購買行動が一層多様化し、厳しい経営環境が続いております。

このような外部環境に対応するために、当社はさまざまな取組みを進めてまいりました。

全体の商品調達力を高めるために、催事買取・宅配買取及び法人買取を強化してまいりました。店頭買取システムの見直しに注力し、効率アップを目指しております。

取扱い商材に関しては、売上構成比の高いファッション・ホビー及び工具を攻めるものとして力を入れ、ブランド・トレカ・アウトレット衣料を徹底して守ってまいりました。

店舗政策においては、業務標準化を推進してまいりました。特に、工具については、多店舗展開を図るために、誰でも買取・販売・マネジメントができるように、標準化システムの構築をしております。そのため、出店進捗が当初の出店計画を下回りました。

出退店においては、工具専門店業態として、工具買取王国岡崎大樹寺店(愛知県岡崎市)を2019年3月21日に、工具買取王国京都久世171号店(京都市南区)を2019年7月1日に、工具買取王国津守店(大阪市西成区)を2019年12月1日にオープンいたしました。不採算店舗買取王国豊田248店(愛知県豊田市)を2019年5月29日に、マイシユウサガールヨシヅヤ清洲店(愛知県清須市)を2019年9月23日に閉店いたしました。

売上高については、主力商材のファッションが不調でしたが、工具をはじめ、ホビー・貴金属・金券等が好調のため、売上高が前年同期を上回りました。利益面については、売上総利益率が改善し、増加した販売費及び一般管理費が吸収されて、営業利益が前年同期を上回ることとなりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は3,525百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益は52百万円(前年同期は営業損失7百万円)、経常利益は62百万円(前年同期比845.0%増)、四半期純利益は33百万円(前年同期は四半期純損失4百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末と比べて46百万円増加し、2,032百万円となりました。これは、現金及び預金が74百万円、商品が122百万円増加した一方、有価証券が158百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前事業年度末と比べて85百万円増加し、1,240百万円となりました。これは、有形固定資産が11百万円、無形固定資産39百万円減少した一方、投資その他の資産が136百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は前事業年度末と比べて131百万円増加し、3,272百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末と比べて8百万円増加し、640百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が32百万円減少した一方、未払法人税等が12百万円、賞与引当金が12百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前事業年度末と比べて89百万円増加し、759百万円となりました。これは、長期借入金が81百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は前事業年度末と比べて97百万円増加し、1,399百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末と比べて33百万円増加し、1,872百万円となりました。これは、四半期純利益により利益剰余金が33百万円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月15日に公表した通期の業績予想については、現時点で変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	669,922	744,171
売掛金	91,252	122,113
有価証券	190,159	32,073
商品	943,714	1,065,846
その他	90,854	67,892
流動資産合計	1,985,903	2,032,096
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	167,302	164,918
土地	341,824	341,824
その他（純額）	88,542	79,764
有形固定資産合計	597,669	586,507
無形固定資産	176,640	137,133
投資その他の資産		
投資有価証券	—	150,000
関係会社株式	31,900	21,000
差入保証金	238,114	235,329
その他	110,707	110,630
投資その他の資産合計	380,721	516,959
固定資産合計	1,155,031	1,240,600
資産合計	3,140,934	3,272,697
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,951	5,620
1年内返済予定の長期借入金	380,726	347,797
未払法人税等	8,506	20,781
賞与引当金	16,886	29,572
ポイント引当金	19,114	18,545
資産除去債務	3,014	—
その他	198,888	218,418
流動負債合計	632,088	640,735
固定負債		
長期借入金	576,906	658,827
退職給付引当金	28,800	32,300
資産除去債務	63,699	67,432
その他	550	574
固定負債合計	669,955	759,133
負債合計	1,302,043	1,399,869
純資産の部		
株主資本		
資本金	336,370	336,370
資本剰余金	266,370	266,370
利益剰余金	1,236,150	1,270,086
株主資本合計	1,838,891	1,872,827
純資産合計	1,838,891	1,872,827
負債純資産合計	3,140,934	3,272,697

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
売上高	3,432,817	3,525,516
売上原価	1,546,589	1,556,506
売上総利益	1,886,227	1,969,010
販売費及び一般管理費	1,893,331	1,916,148
営業利益又は営業損失(△)	△7,103	52,861
営業外収益		
受取利息	683	1,137
投資有価証券売却益	4,266	—
受取手数料	9,204	8,790
その他	3,071	2,834
営業外収益合計	17,227	12,762
営業外費用		
支払利息	2,634	1,778
その他	857	1,176
営業外費用合計	3,492	2,955
経常利益	6,631	62,668
特別損失		
子会社株式売却損	—	1,072
減損損失	13,150	—
解約違約金	4,092	443
店舗閉鎖損失	—	2,400
特別損失合計	17,242	3,915
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△10,611	58,753
法人税等	△5,699	24,817
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,911	33,936

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。